2021年度事業報告

Ⅰ　一般事項

1　会員の動向

年度当初145名であった会員数は4名の異動があり、2022年3月末現在で143名である。

	2021年4月1日	入会	退会	2022年1月31日	増・減(△)
特別会員	33	0	0	33	0
通常会員	112	1	3	110	△2
合計	145	1	3	143	△2

2　通常総会

2022年4月25日，昭和木材（株）2階会議室において，出席および書面による議決権行使を合わせ115名の参加をいただいて2022年度通常総会を開催し、2021年度事業報告，決算書類及び財産目録，会費の額，役員の報酬額，2021年度事業計画及び収支予算等について審議し，いずれも承認された。

書面意見として，ウッディエイジの見やすさ，内容，発行方法等に対する改善提案をいただいた。いただいた意見を含め，より充実した誌面作りに取り組むこととする。

3　諸会議の開催

第1回理事会を2021年4月7日～4月12日に書面開催し,第2回理事会を2021年4月26日，第3会理事会を2022年3月2日，2021年度通常総会を2021年4月26日にそれぞれ開催した。

Ⅱ　事業実施状況

1　林産技術普及事業

ア　木材利用に関する相談事業の実施

①道産材の利用に関する相談に応えるとともに，研究機関や取扱事業体を紹介した。

イ　講演会等の開催

①総会記念講演会を実施した。

開催日時：2021年4月26日

演題：中高層建築物で木材を使う　－木のイノベーションで森とまちの未来をつくる－

講師：小林　道和氏（(株）竹中工務店　営業・プロモーショングループ部長)

参加者：108名

②北海道立北の森づくり専門学院（北森カレッジ）の見学会を実施した。

開催日時：2021年8月24日

参加者　：13名

③Web版「木になるフェスティバル（主催：道総研林産試験場)」に協力した。

開催期間：7月19日～8月31日

④「森を知る，木に親しむ」会を開催した。

開催日時：2021年12月25日

場所：当麻町木育推進拠点施設「くるみなの木遊館」
参加者：小学生以下のお子さん約 40 名，父母等を合わせ約 90 名
⑤木材加工技術賞受賞者講演・企画講演を開催した（(公社) 日本木材加工技術協会北海道支部との共催)。
開催日時：2021 年 9 月 29 日
場所：オンライン
企画講演題名：都市木造が描く国産材への期待と課題

ウ　会誌・図書の発行事業
①812～823 号の「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を発行した。
②展示クラフトの紹介パンフレットを作成し，来館者に配布した。

エ　ホームページの活用
①ホームページでイベントや講習会開催等の情報提供を行った。
②1984 年 1 月号以降のウッディエイジ全記事をホームページで公開した。
③会員企業名簿のホームページ掲載を進めた。

2　その他事業

ア　展示品維持管理事業
展示品維持管理業務を道総研から受託した。

イ　きのこ栽培試験管理事業
きのこ栽培試験管理業務を道総研から受託した。

ウ　講習物販等事業
①木材接着講習会を実施した（(公社) 日本木材加工技術協会北海道支部との共催)。
開催日時：2021 年 11 月 4 日～5 日
開催場所：林産試験場講堂
受講者：5 名
③「上川地域水平連携協議会」事務局として活動した。
「顔の見える木材での快適空間づくり事業」に「高断熱建築物の遮熱性を活かす木材張り外壁の普及と常設展示施設による情報発信」を応募し，採択され，事業を実施した。事業で作成した「防火木外壁技術資料」を会員に配布した。
④会員企業支援事業：林産試験場での依頼試験等を実施した会員に，所用経費の 1/2 を助成した。